

# 支援プログラム

事業所名 児童発達支援事業所がーねっと竹屋教室

法人（事業所） 理念	遊びから発展した活動を大切に「意欲的で心豊かな子ども」を育てる		
支援方針	お子さまに対しては個々の障害の特性・行動の特性を理解し、無理強いせず、意欲的に取り組めるよう環境や導入方法を工夫し必要な発達支援を提供する。ご家族に対しては対話を重ねながら子ども本人のありのままを肯定できるようサポートする。		
営業時間	8時00分から17時00分まで	送迎実施の有無	あり（やむを得ない理由により）
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、こどもの心身の状態をきめ細やかに確認し、平常とは異なった状態を速やかに見つけ出し、必要な対応をする。基本的な生活習慣を形成し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援する。	
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図り、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行う。	
	認知・行動	一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。環境や状況を把握・理解できるようにするとともに、これらの情報を的確な判断や行動につなげることができるよう支援を行う。	
	言語 コミュニケーション	障害の種別や程度、興味関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、各種の機器等を用いて意思のやりとりが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身につけることができるよう支援する。また、発達障害のある子どもなど、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。	
	人間関係 社会性	こどもが基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行う。また、遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。それとともに、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。	
家族支援	障害のある子どもを育てる家族が安心して子育てを行うことができるよう、家族（きょうだいを含む。）と日頃から信頼関係を構築し、障害の特性に配慮し、丁寧な「家族支援」を行う。	移行支援	併行利用先とのこどもの状態や支援内容の共有（例：得意不得意やその背景、声掛けのタイミングやコミュニケーション手段の共有）を行う。
地域支援・地域 連携	こどもが利用する障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携を行う。	職員の質の向上	研修等に参加することができるよう職員の勤務体制等を工夫したり、研修計画をたて実行し、職員一人一人の資質及び専門性の向上の促進を図る。
主な行事等	季節に合わせた活動（壁面づくり、製作、ごっこ遊び、ゲームなど）		